

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	平成 30 年 8 月 22 日	担当部署	自治・市民環境部 環境保全課
-------	------------------	------	----------------

※以下は平成 30 年 3 月 31 日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人等名称	公益財団法人 雪だるま財団				
代表者名	理事長 小林 美佐子				
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤				
	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市派遣 <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他				
所在地	新潟県上越市安塚区安塚 722 番地 3				
設立年月日	平成 23 年 8 月 1 日 (財団法人雪だるま財団 は、平成 2 年 9 月 1 日設立)	基本 金	151,000 千円	市出捐割合	100%
設立目的	雪国の持つ地域資源を活用し、自然エネルギーの利用を推進するとともに、体験交流活動の促進と地域振興を図ることにより、地球温暖化の防止、人材の育成、青少年の健全な育成、並びに地域社会の発展と雪国生活の向上に寄与すること。				

3 組織

(単位：人)

		理事・ 取締役	監事・ 監査役	計	内訳			
					プロパー	市派遣	市兼務	その他
役員	常勤	1	—	1	1			
	非常勤	3	1	4	4			
	計	4	1	5	5			
職員	正職員	—	—	4	4			
	臨時職員	—	—	0				
	パート職員等	—	—	0				
	計	—	—	4	4			

4 主な事業

(1) 雪国の暮らし向上に関する支援
(2) 自然エネルギーに関する調査研究及び普及促進
(3) 体験交流活動の実施及び促進
(4) 地域資源の調査及び伝承並びにその活用
(5) 地域資源を活用した体験交流旅行の企画及び実施
(6) 住みよい地域づくりの企画、提案
(7) (1)から(6)に掲げる事業を実践する人材の育成、情報収集及び公開、関連する個人・団体間の交流・連携の促進

5 事業実績（概要）

自然エネルギー推進事業、ふるさと交流事業を中心として、地域資源の価値を高め、地域を盛りたてることに重点を置き事業を実施した。

【公益目的事業】

(1) 自然エネルギー推進事業

- ① 自然エネルギーに関する調査・研究
 - ・雪冷熱や太陽光等の自然エネルギーを活用した技術開発、地域資源の有効活用のための調査及びシステムの研究開発を実施
- ② 自然エネルギーの普及・推進活動
 - ・雪室の利活用の推進及び運営支援を実施したほか、新エネルギーセミナー等を開催
 - ・小中学生を対象とした自然エネルギーの知識を学ぶ教育プログラムを実施
 - 雪室や雪利用を学ぶ環境講座（延べ 66 名）
 - 雪の寺子屋（延べ 250 名）
 - ・専門家を派遣し、雪を利用した農産物等の貯蔵方法や冷房システムに関する技術指導を実施
 - ・雪室の活用や雪室食品の開発に取り組む事業者及び行政等と連携し、雪の利活用促進と雪国文化の発信、雪室食品のPRを実施
 - ・機関紙「雪だるま通信」やホームページ等に活動状況を掲載
 - 「雪だるま通信」発行実績……6月、9月、1月

(2) ふるさと交流事業

① 越後田舎体験事業の実施

年 度	団体数	内 訳				人 数	泊 数
		小学校	中学校	高校・大学	その他		
25 年度	48	11	28	2	7	4,483	9,712
26 年度	46	12	31	2	1	4,286	9,481
27 年度	43	12	25	2	4	3,803	8,621
28 年度	41	11	22	4	4	3,722	8,402
29 年度	43	11	22	4	6	3,452	7,657

② 雪国の魅力ある地域資源を活用した交流事業の実施

- ・上越市とその周辺地域における地域資源を活用した旅行企画と情報発信、営業活動

【収益事業】

(1) 情報通信事業

- ① 各種団体の情報受発信のための支援
- ② 各種団体のホームページの運営支援
 - ・全国柵田連絡協議会、越後田舎体験推進協議会

(2) 事務委託事業

- ① 越後田舎体験推進協議会からの受託事業
 - ・越後田舎体験推進協議会の総会・役員会・幹事会等の会議の開催及び運営

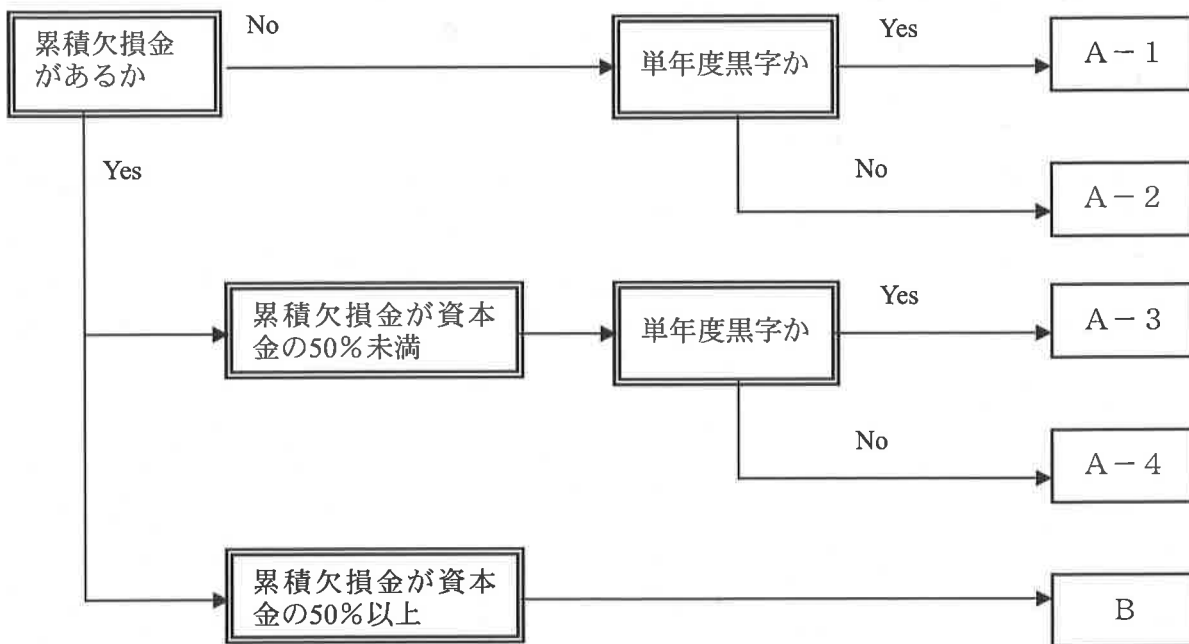
6 財務状況

(単位：千円)

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	備考
	自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日	自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日	自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部			
	経常収益	42,290	62,374	40,703
	基本財産運用益	2,564	2,528	2,528
	特定資産運用益	0	0	0
	受取会費	989	993	965
	事業収益	37,034	56,805	35,608
	受取補助金等	1,698	2,044	1,200
	その他経常収益	5	4	402
	経常費用	41,730	61,761	44,679
	事業費	39,224	59,380	42,470
	管理費	2,506	2,381	2,209
	当期経常増減額	560	613	△3,977
	経常外収益	0	0	0
	経常外費用	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	560	613	△3,977
	一般正味財産期首残高	29,306	29,866	30,479
	一般正味財産期末残高	29,866	30,479	26,502
	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	151,000	151,000	151,000	
指定正味財産期末残高	151,000	151,000	151,000	
正味財産期末残高	180,866	181,479	177,502	
項目	平成 28 年 3 月 31 日現在	平成 29 年 3 月 31 日現在	平成 30 年 3 月 31 日現在	備考
貸借対照表	資産	191,906	185,456	180,345
	負債	11,040	3,977	2,843
	正味財産	180,866	181,479	177,502
	指定正味財産	151,000	151,000	151,000
	一般正味財産	29,866	30,479	26,502

7 経営状況の予備的診断

予備的診断フロー



評価	A-2
----	-----

	評価基準	備考
A-1	累積欠損金がなく、単年度黒字の場合	引き続き経営努力を行う。
A-2	累積欠損金がなく、単年度赤字の場合	複数年の経過を注視しながら引き続き経営努力を行う。
A-3	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度黒字の場合	経営改善の努力を要する。
A-4	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度赤字の場合	経営改善の一層の努力を要する。
B	累積欠損金が資本金の50%以上の場合	事業の見直し等も含めた抜本的な経営改善を要する。

※ この評価に関連する特殊な事情又は要因など特記すべき事項

※ 公益法人においては、損益計算書を収支計算書・正味財産増減計算書に、当期利益を当期正味財産増減額に読み替える。

8 市の関与の状況

(1) 市の委託額

(単位：千円)

内訳		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	備考
①	雪室や雪利用を学ぶ環境講座	0	0	399	
②	雪室・雪利用説明パネル作成	0	0	200	
③	上越市謙信キッズ「雪の講座」	623	268	300	
④	上越市体験型観光営業活動業務（越後田舎体験営業業務推進）	487	608	608	
⑤	雪のまちみらい館雪室穴あけ業務	0	22	25	
⑥	安塚ほのぼの荘雪室利活用提案業務	0	2,450	0	
⑦	雪室の普及促進に関する提案業務	0	700	0	
⑧	雪利活用プロモーション業務	0	499	0	
⑨	雪のまちみらい館清掃業務	326	0	0	
⑩	雪を活用した事業展開のための手引書原稿作成業務	356	0	0	
⑪	上越市謙信キッズ「食の講座」	137	0	0	
計		1,929	4,547	1,532	

(2) 市の財政援助額

(単位：千円)

内訳		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	備考
①	補助金（助成金）	1,698	700	1,200	雪冷熱エネルギー利活用促進事業補助金 (H27) 雪室推進プロジェクト事務局運営費補助金 (H28、H29) 旧安塚ほのぼの荘雪室運営費補助金 (H29)
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他（ ）	0	0	0	
計		1,698	700	1,200	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

【公益目的事業】

(1) 自然エネルギー推進事業

- ①自然エネルギーに関する調査・研究
- ②自然エネルギーの普及・推進活動（自然エネルギーの導入、雪の利用に関する技術的指導や情報発信等を実施）

(2) ふるさと交流事業

- ①小中高校生等を教育体験旅行で地域に受け入れる「越後田舎体験」事業
- ②魅力ある地域資源を活かした交流事業

【収益事業】

(1) 情報通信事業

- ①各種団体等の情報の受発信のための支援
- ②各種団体等のホームページ作成及び運営支援

(2) 事務委託事業

- ①越後田舎体験推進協議会からの受託事業

(2) 中長期経営計画

中長期経営計画 無

平成29年度事業報告及び決算報告書
平成30年度事業計画及び当初予算書



平成29年度 公益財団法人 雪だるま財団 事業報告書

自然エネルギー推進、ふるさと交流事業を中心として、地域資源の価値を高め、地域を盛りたてることに重点を置き事業を展開する。地域・人・物の連携を図り、具体的な実践活動を行った。

■ 公益目的事業

自然エネルギー推進事業

(公1) 雪国に賦存する地域資源を有効活用し、環境保全と地域社会の発展に寄与する事業

(事業の内容)

地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出抑制効果がある自然エネルギーの有効活用について調査研究や普及活動を継続して行い、環境保全と地域社会の発展に寄与した。

1 自然エネルギーに関する調査・研究

雪冷熱・太陽光・バイオマス等の自然エネルギーを活かした技術開発を行い、地域資源を有効に活用する調査、及びシステムの研究開発を行なった。

○雪冷熱エネルギー活用の新たな施策検討のための調査研究

①市内等への雪中貯蔵施設整備に向けた調査

・和田の雪室

安塚区和田の雪室施設の運用に伴い、貯蔵環境改善へ向けた提案を行なった。

・雪だるま物産館

焼失した雪室施設の利用状況の調査、ニーズ等の調査

②民間事業者等による雪冷熱導入施設の誘致・整備に向けた建設費の低コスト化の検討

・コンテナ型雪室整備、調査業務／雪室推進プロジェクト

雪冷熱エネルギーを冷熱（冷蔵）に応用し、コンテナの活用等による設置コストを抑えたシステムの導入調査を行なった。

③雪を利用した酒等の低温熟成、農畜産物等の雪中貯蔵、低温発酵・熟成に伴う食味変化など調査・分析

・もち米の貯蔵試験／株式会社 花の米

・醤油及び魚醤の雪室貯蔵試験／新潟県農業総合研究所食品研究センター

・雪室貯蔵が青ネギの食味と香気成分及び催涙因子の生成に与える影響について ／新潟県立大学

・雪室貯蔵がタマネギの香気・辛味成分 (alkyl disulfide) と催涙因子 (Lachrymatory factor:LF)／新潟県立大学

・サツマイモの雪室貯蔵試験／高知市 枳屋商事

2 自然エネルギーの普及・推進活動

○自然エネルギーを活用した雪室の利活用の推進と運営支援

・安塚区和田雪室の利用、運営支援

・上越オクトーバーフェスト 2017 in 蓮まつり「真夏の雪体験」への協力

○自然エネルギーに関する理解や認知度の向上と利用拡大を目指すための新エネルギーセミナー等の開催

①雪の市民会議運営支援

雪を資源と捉え、雪国の未来を考えていく「雪の市民会議」。雪に関する幅広い情報を共有しネットワークを広げていくため、毎年度1回開催している。

- ・第12回雪の市民会議 in 美唄開催 平成29年7月7日(金)～8日(土)
- ・雪の市民会議の開催企画、資金調達、情報発信、会計、当日運営など

○地球温暖化防止への意識を高めるため、小・中学生を対象とした自然エネルギーの知識を学ぶ教育プログラムの実施

①雪の環境講座「雪室・雪利用を学ぶ講座」(8月に4回開催)

対象者：上越市内の小学生(延べ66名)

開催日：8月2日(水) 17名

8月11日(金) 11名

8月16日(水) 25名

8月19日(土) 13名

②雪の寺子屋の開催

市内、小・中学校からの依頼を受けて、雪の結晶づくり実験、雪の降る仕組みなどについての環境学習支援を行った。(延べ4校 250名)

10月27日(金)、30日(月) 春日小学校 125名

2月9日(金) 春日新田小学校 80名

2月16日(金) 安塚中学校 30名

2月19日(月) 小猿屋小学校 15名

○相談・助言

①自然エネルギーの導入促進及び普及を図るため、専門家を派遣した。

- ・新潟県立大学への講師派遣(雪国の食品と雪をテーマに授業を行なった。)
- ・グリーンエネルギー認証センター委員
- ・NEDO事業 都市除排雪を利用した雪山貯蔵による高効率熱供給システムの研究開発事業検討委員会委員
- ・福井県勝山市雪氷熱エネルギー利用促進協議会アドバイザー
- ・魚沼市利雪アドバイザー
- ・長野県栄村むらづくりアドバイザー
- ・越後雪室屋 顧問
- ・えちご上越農業協同組合 雪下雪室研究会 顧問
- ・講演(年間17回 聴講者延べ1,015人)

②雪を利用した(農産物等の)貯蔵方法や、冷房システムに関する助言及び技術指導

- ・雪室の貯蔵実験について
サギソウの球根貯蔵試験/姫路市立手柄山温室植物園
カカオの貯蔵試験/県内菓子メーカーB社

ピーナッツの貯蔵試験／県内菓子メーカーE社
サツマイモの貯蔵試験／高知市 枳屋商事

③その他、再生可能なエネルギーの高効率化や省エネルギーに関する助言及び技術指導を行った。

- ・雪室の普及促進に関する提案業務
魚沼市 水の郷工業団地への技術協力／東京ガス

○「雪室推進プロジェクト」事務局業務

雪室の活用や、雪室食品の開発に取り組む事業者、行政等と連携しながら、雪の利活用促進と雪国文化の発信、雪室食品の認知度向上に取り組んだ。

- ・「雪室推進プロジェクト」の会議運営
- ・関係機関と連携を図り、「雪室推進プロジェクト」の事業展開に向けての検討、情報収集連絡調整等を行った。
- ・上越地域の利雪の取り組みや雪室食品をPRするための事業を行なった。

○ホームページや雪だるま通信などによる情報発信、視察対応

自然エネルギーの導入促進及び普及につながる情報収集を行い、様々な情報媒体を活用し情報提供を行なった。

①それぞれの活動について、雪だるま通信（機関紙）やホームページ等へ適時に掲載した。

- ・雪だるま通信発行3回：6月、9月、1月

②視察対応、新聞・雑誌等の取材対応を行い、雪だるま財団の取り組みと雪冷熱の活用と導入などについて情報発信した。

○雪冷熱エネルギー関連コンサルティング

雪冷熱導入に取り組む事業者に事業提案、技術指導等を行なった。

- ・青木酒造 利雪型米貯蔵庫建設に伴う技術支援および設計支援業務
- ・JA十日町 利雪型低温倉庫・精米施設建設に伴う設計支援
- ・福井県大野市 道の駅雪室計画
- ・妙高市 道の駅あらい雪室基本プラン
- ・雪国利雪振興会 雪山貯蔵
- ・マルコメ 利雪コンサルティング
- ・東日本高速道路 雪有効利用概略検討業務

ふるさと交流事業

(公2) 地域資源を活かした体験交流を促進し、青少年の健全な育成及び地域の活性化に寄与する事業

(事業の内容)

日本の原風景とそこに生きる人々の暮らしを活かした体験交流活動や地域づくりの提案等を行い、青少年の健全な育成、地域の活性化に寄与した。

1 小中高校生等を教育体験旅行で地域に受け入れる「越後田舎体験」事業を行った。

越後田舎体験推進協議会の事務局を受託し、コーディネータ役として、協議会の運営、学校団体の受入れ、受入のレベルアップ、地域連携の強化、営業活動等を行い、組織の強化と集客増を目指した。

○地域資源を活かした教育旅行の受入れ

- ・受入数 年間 43 団体

【内訳】小学校 11 団体（内インバウンド 1）、中学校 22 団体、高校・大学 4 団体（内インバウンド 1）、その他 6 団体

○体験活動に関する指導者等の人材育成のための研修・セミナーへの参加

- ・農泊推進事業に関する研修・視察等の実施 *別紙 かわらばん

○体験活動に関する情報提供（雪だるま通信）、ホームページ等

- ・通信（田舎体験かわらばん）、ホームページ等からの情報発信

2 魅力ある地域資源を活かした交流事業を行った。

行政・地域・各種団体との連携や他地域との連携を図りながら、体験交流人口の拡大を目指した。

○上越及びその周辺地域における地域資源（自然、農林漁業、暮らし・文化・歴史、人材等）を活用した観光交流事業

4～3 月（通年）越後田舎体験各種事業

1 月 13～14 日 雪室関連モニターツアーの実施

○人材発掘・育成のための研修、視察

10 月 13～14 日 新潟県グリーンツーリズム交流大会（十日町市等開催）

12 月 1～3 日 全国ほんもの体験ネットワーク研修会

12 月 13～14 日 滋賀県日野町視察受入 23 名

2 月 13～15 日 旅行業全国フォーラム高知県

2 月 27～28 日 栃木県大田原市視察受入 18 名

3 月 1 日 旅行業ブラッシュアップ研修会 新潟市

3 月 2 日 新潟県グリーンツーリズム インバウンド研修会

3 月 15 日 旅行業協会新潟県上越支部研修会 糸魚川市

3 月 23～24 日 全国ほんもの体験フォーラム 奈良 27 名

○観光事業における各種団体等との連携、情報提供

4～3月（通年） 受入・ツアー等の実施に伴う各種団体との連携、情報提供

【事業実施のための財源】

事業の財源は、ふるさと交流事業収入が主であるが、不足分は収益事業収入、基本財産運用収入、賛助会員年会費を充てた。

■ 収益事業

（収1）情報通信事業

- （1）各種団体等の情報の受発信のための支援を行なった。
 - ・ 凌雲閣（パンフレット）
- （2）各種団体等のホームページの運営支援を行なった。
 - ・ 全国棚田連絡協議会（ホームページ管理・更新）
 - ・ 越後田舎体験推進協議会（ホームページ管理・更新）

（収2）事務委託事業

越後田舎体験推進協議会より委託を受け、下記の事務を行なった。

- （1）越後田舎体験推進協議会の総会・役員会・幹事会等、会議の開催・運営
- （2）越後田舎体験推進協議会の会計事務
- （3）その他総務事務
 - ・ 平成29年度 700,000円

決 算 報 告 書

(第 7 期)

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月 31日

公益財団法人 雪だるま財団

貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日現在

公益財団法人雪だるま財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	18,288,084	15,367,120	2,920,964
未収入金	8,719,027	15,808,888	△ 7,089,861
仮払金	0	0	0
流動資産 合計	27,007,111	31,176,008	△ 4,168,897
2. 固定資産			
基本財産	151,000,000	151,000,000	0
車両運搬具	1,619,005	2,427,293	△ 808,288
什器備品	8,066	141,899	△ 133,833
保証金	700,000	700,000	0
預託金	10,360	10,360	0
固定資産 合計	153,337,431	154,279,552	△ 942,121
資産合計	180,344,542	185,455,560	△ 5,111,018
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	0	0	0
未払金	1,217,281	2,560,960	△ 1,343,679
預り金	425,511	342,921	82,590
前受金	0	53,000	△ 53,000
流動負債合計	1,642,792	2,956,881	△ 1,314,089
2. 固定負債			
退職給与引当金	1,200,000	1,020,000	180,000
固定負債 合計	1,200,000	1,020,000	180,000
負債合計	2,842,792	3,976,881	△ 1,134,089
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	151,000,000	151,000,000	0
2. 一般正味財産	26,501,750	30,478,679	△ 3,976,929
正味財産 合計	177,501,750	181,478,679	△ 3,976,929
負債及び正味財産 合計	180,344,542	185,455,560	△ 5,111,018

正味財産増減計算書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

公益財団法人雪だるま財団

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	2,527,870	2,528,402	△ 532
基本財産利息収入	2,527,870	2,528,402	△ 532
寄附金収入	401,000	0	401,000
寄 附 金	401,000	0	401,000
会 費 収 入	965,000	993,000	△ 28,000
賛助会員年会費	965,000	993,000	△ 28,000
事 業 収 入	35,607,511	56,805,364	△ 21,197,853
自然エネルギー推進事業 (公1)	24,823,603	45,322,865	△ 20,499,262
ふるさと交流事業 (公2)	9,603,674	8,043,665	1,560,009
情報通信事業 (収1)	480,234	2,738,834	△ 2,258,600
事務局受託収入 (収2)	700,000	700,000	0
補助金等収入	1,200,000	2,044,000	△ 844,000
地方公共団体補助金	1,200,000	2,044,000	△ 844,000
雑収益	1,162	3,597	△ 2,435
雑収入	1,162	3,597	△ 2,435
経常収益計	40,702,543	62,374,363	△ 21,671,820
(2) 経常費用			
事業費	42,469,982	59,380,449	△ 16,910,467
役員報酬	4,332,464	4,274,280	58,184
給与手当	13,071,150	13,460,690	△ 389,540
退職給付費用	165,600	165,600	0
福利厚生費	3,292,238	3,013,443	278,795
旅費交通費	1,233,532	1,815,138	△ 581,606
通信費	479,558	452,588	26,970
減価償却費	939,466	250,543	688,923
什器備品費	0	127,440	△ 127,440
消耗品費	481,184	573,670	△ 92,486
修繕費	46,540	0	46,540
印刷製本費	896,793	956,751	△ 59,958
燃料費	268,609	200,402	68,207
水道光熱費	135,263	118,132	17,131
広告宣伝費	101,281	289,680	△ 188,399
車両関係費	137,887	382,035	△ 244,148
賃借料	439,684	526,599	△ 86,915
損害保険料	14,892	4,121	10,771
会議費	0	24,949	△ 24,949
接待交際費	38,164	54,142	△ 15,978
諸謝金	0	100,000	△ 100,000
租税公課	2,519,500	1,612,770	906,730
負担金	161,800	191,321	△ 29,521
委託料	13,575,595	30,716,874	△ 17,141,279
雑 費	138,782	69,281	69,501

科 目	当年度	前年度	増減
管理費	2,209,490	2,380,961	△ 171,471
役員報酬	376,736	474,920	△ 98,184
給与手当	983,850	1,013,170	△ 29,320
退職給付費用	14,400	14,400	0
福利厚生費	247,803	325,491	△ 77,688
会議費	86,035	36,800	49,235
旅費交通費	117,920	119,740	△ 1,820
通信費	31,137	28,991	2,146
減価償却費	2,655	2,662	△ 7
什器備品費	0	0	0
消耗品費	3,626	19,600	△ 15,974
修繕費	0	0	0
印刷製本費	33,296	33,775	△ 479
燃料費	5,482	10,548	△ 5,066
水道光熱費	8,060	9,994	△ 1,934
車両関係費	2,814	20,107	△ 17,293
賃借料	18,056	20,748	△ 2,692
租税公課	70,370	70,000	370
負担金	27,200	22,900	4,300
委託料	152,900	151,900	1,000
支払利息	0	0	0
雑費	27,150	5,215	21,935
経常費用計	44,679,472	61,761,410	△ 17,081,938
当期経常増減額	△ 3,976,929	612,953	△ 4,589,882
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
指定正味財産より振替	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却額	0	0	0
什器備品減価償却額	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,976,929	612,953	△ 4,589,882
一般正味財産期首残高	30,478,679	29,865,726	612,953
一般正味財産期末残高	26,501,750	30,478,679	△ 3,976,929
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	151,000,000	151,000,000	0
指定正味財産期末残高	151,000,000	151,000,000	0
III 正味財産期末残高	177,501,750	181,478,679	△ 3,976,929

附属明細書

1 基本財産の明細

(単位：円)

区 分	資 産 の 種 類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	有価証券（第64回共同発行市場公募地方債）	50,000,000	0	0	50,000,000
	有価証券（北海道平成20年度第12回公募公債）	50,000,000	0	0	50,000,000
	有価証券（第327回大阪府公募公債）	46,000,000	0	0	46,000,000
	定期貯金（えちご上越農協 安塚支店）	4,000,000	0	0	4,000,000
	定期貯金（えちご上越農協 安塚支店）	1,000,000	0	0	1,000,000
	合 計	151,000,000	0	0	151,000,000

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,020,000	180,000	0	0	1,200,000

3 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

什器備品科目の物件	取得価格	減価償却 累計額	当期末残高
パーソナルコンピュータ(8台)	1,646,790	1,645,570	1,220
データ集録装置(2台)	892,500	892,499	1
全天日射計	147,000	146,999	1
レイドステーション	241,815	241,814	1
デジタルカメラ	180,358	180,355	3
書棚	84,000	83,156	844
風速計	249,900	249,895	5
ふく射温度計	60,900	60,895	5
事務椅子	119,700	113,715	5,985
熱計測器	299,775	299,774	1
合 計	3,922,738	3,914,672	8,066

(単位：円)

車両運搬具科目の物件	取得価格	減価償却 累計額	当期末残高
車両 トヨタ シエンタ	2,496,572	877,567	1,619,005
合 計	2,496,572	877,567	1,619,005

4 保証金の明細

(単位：円)

種 別	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
旅行業弁済業務保証金	600,000	0	0	600,000
新潟県支部 旅行業保証金	100,000	0	0	100,000
合 計	700,000	0	0	700,000

5 預託金

車両（トヨタ シエンタ）のリサイクル預託金の額を計上

財 産 目 録

公益財団法人 雪だるま財団

平成 30 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金預金					
	普通預金	第四銀行安塚支店	運転資金として	7,759,559		
	普通預金	えちご上越農協安塚支店	運転資金として	528,525		
	定期預金	えちご上越農協安塚支店	運転資金として	10,000,000		
			現金預金 計	18,288,084		
	未収入金	ゆきぐに利雪振興会他	公1 自然エネルギーに関する調査・研究受託料等	1,644,050		
		上越市	公2 雪国の魅力ある地域資源を活かした事業の受託料等	300,419		
		越後田舎体験推進協議会	公2 「越後田舎体験」事業の受入料	6,621,218		
		全国棚田連絡協議会	収1 情報発信事業 HP管理他	143,340		
		会費収入(郵便振替口座分)	会費収入	10,000		
		未収入金 計	8,719,027			
流動資産合計				27,007,111		
(固定資産)	基本財産	有価証券	株式会社第四銀行安塚支店	公益目的保有財産であり、運用益を管理費の財源として使用している	50,000,000	
			野村証券株式会社	同上	50,000,000	
			野村証券株式会社	同上	46,000,000	
			えちご上越農協安塚支店	公益目的保有財産であり、運用益を事業の財源として使用している	4,000,000	
			えちご上越農協安塚支店	同上	1,000,000	
			基本財産 計	151,000,000		
	その他の 固有資産	什器備品	パーソナルコンピュータ(8台)	公益目的事業、収益事業、管理業務で使用している共用資産である	1,220	
			データ集録装置(2台)	公1で使用している	1	
			全天日射計	同上	1	
			レイドステーション	同上	1	
			デジタルカメラ	公益目的事業、収益事業、管理業務で使用している共用資産である	3	
			音棚	同上	844	
			風速計	公1で使用している	5	
			ふく射温度計	同上	5	
			事務椅子	公益目的事業、収益事業、管理業務で使用している共用資産である	5,985	
			熱計測器	公1で使用している	1	
				什器備品 計	8,066	
			車輦運搬具	車両 トヨタ シエンタ	公2の財産として管理している	1,619,005
				車輦運搬具 計	1,619,005	
			保証金	全国旅行業協会	公2の財産として管理している	700,000
			保証金 計	700,000		
預託金	車両 トヨタ シエンタ	公2の財産として管理している	10,360			
	預託金 計	10,360				
固定資産合計				153,337,431		
資産合計				180,344,542		
(流動負債)	未払金	職員他	公1 自然エネルギーの普及業務にかかる旅費	196,460		
		タイムマシーン(株)	公1 自然エネルギーの普及業務にかかる通信費	65,880		
		えちご上越農協	公1 自然エネルギーの普及業務にかかる修繕費	6,040		
		日本食品分析センター他	公1 自然エネルギーの普及業務にかかる委託料	228,960		
		東北電力(株)	公1 自然エネルギーの普及業務にかかる光熱費	3,069		
		経営ブレイン	管理業務にかかる委託料	140,400		
		わたや	管理業務にかかる会議費	43,303		
		その他	公益目的、収益、管理業務にまたがる共用の未払金	533,169		
			未払金 計	1,217,281		
		預り金	役職員	源泉所得税	33,710	
	役職員		住民税、社会保険料	314,041		
	豊坂生産組合		通信費	77,760		
			預り金 計	425,511		
	流動負債合計				1,642,792	
	(固定負債)	退職給付引当金	常勤役員に対するもの	常勤役員に対する退職金の支払いに備えたもの	1,200,000	
固定負債合計				1,200,000		
負債合計				2,842,792		
正味財産				177,501,750		

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 会計基準

平成 20 年会計基準を適用している

(2) 固定資産の減価償却について

定率法による減価償却を実施している。

(3) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	備考	当同期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産					
第64回共同発行市場公募地方債	満期保有目的	50,000,000	0	0	50,000,000
北海道平成20年度第12回公募公債	満期保有目的	50,000,000	0	0	50,000,000
第327回大阪府公募公債	満期保有目的	46,000,000	0	0	46,000,000
大口定期貯金		5,000,000	0	0	5,000,000
合計		151,000,000	0	0	151,000,000

満期保有目的の債券については、取得価格によっている。

※償却原価法については、購入価格と債権金額との差額について重要性に乏しいため適用していない。

(4) 引当金の計上基準

常勤役員退職金を退職給付費用として計上する。

(5) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

(6) 保証金について

旅行業弁済業務保証金 600,000 (平成 18 年 4 月 20 日納入)

新潟県支部 旅行業保証金 100,000 (平成 18 年 5 月 29 日納入) 計 700,000 円

第7期 平成29年度決算書(正味財産増減計算ベース)

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

公益財団法人 雪だるま財団

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	共通	小計	取1	取2	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部										
1 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	2,527,870	2,527,870
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寄附金収入	401,000	0	0	401,000	0	0	0	0	0	401,000
受取会費	0	0	985,000	985,000	0	0	0	0	0	985,000
事業収益	24,823,603	9,603,674	0	34,427,277	480,234	700,000	0	1,180,234	0	35,607,511
自然エネルギー推進事業収入	24,823,603	0	0	24,823,603	0	0	0	0	0	24,823,603
ふるさと交流事業収入	0	9,603,674	0	9,603,674	0	0	0	0	0	9,603,674
情報通信事業収入	0	0	0	0	480,234	0	0	480,234	0	480,234
田舎体験事務局収入	0	0	0	0	0	700,000	0	700,000	0	700,000
受取補助金等	1,200,000	0	0	1,200,000	0	0	0	0	0	1,200,000
地方公共団体補助金収入	1,200,000	0	0	1,200,000	0	0	0	0	0	1,200,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	1,162	1,162
経常収益計	26,424,603	9,603,674	985,000	36,993,277	480,234	700,000	0	1,180,234	2,529,032	40,702,543
(2) 経常費用										
事業費										
役員報酬	659,288	3,437,716	0	4,097,004	0	235,460	0	235,460	0	4,332,464
給与手当	9,838,500	2,811,000	0	12,649,500	140,550	281,100	0	421,650	0	13,071,150
退職給付費用	25,200	131,400	0	156,600	0	9,000	0	9,000	0	165,600
福利厚生費	2,053,224	1,132,813	0	3,186,037	35,400	70,801	0	106,201	0	3,292,238
旅費交通費	1,102,152	131,380	0	1,233,532	0	0	0	0	0	1,233,532
通信運搬費	323,873	142,341	0	466,214	4,448	8,898	0	13,346	0	479,558
減価償却費	54,530	883,478	0	938,008	584	898	0	1,482	0	939,486
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	393,275	81,836	0	474,911	1,045	5,228	0	6,273	0	481,184
修繕費	46,540	0	0	46,540	0	0	0	0	0	46,540
印刷製本費	580,477	266,371	0	846,848	8,324	16,848	0	24,972	0	871,820
燃料費	158,873	104,154	0	263,027	0	5,482	0	5,482	0	268,509
水道光熱費	94,868	36,843	0	131,809	1,151	2,303	0	3,454	0	135,263
広告宣伝費	0	0	101,281	101,281	0	0	0	0	0	101,281
車両関係費	81,807	53,466	0	135,073	0	2,814	0	2,814	0	137,887
賃借料	303,401	128,544	0	431,945	2,580	5,159	0	7,739	0	439,684
保険料	0	14,892	0	14,892	0	0	0	0	0	14,892
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
渉外交渉費	38,164	0	0	38,164	0	0	0	0	0	38,164
贈謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	1,461,310	982,605	0	2,443,915	37,792	37,793	0	75,585	0	2,519,500
支払負担金	71,800	90,000	0	161,800	0	0	0	0	0	161,800
委託費	13,435,795	75,000	64,800	13,575,595	0	0	0	0	0	13,575,595
雑費	110,535	25,826	0	136,361	807	1,814	0	2,421	0	138,782
事業費 合計	30,833,810	10,529,463	186,081	41,529,154	232,661	883,184	0	915,855	0	42,445,009
管理費										
役員報酬									376,736	376,736
給与手当									983,850	983,850
退職給付費用									14,400	14,400
福利厚生費									247,803	247,803
会議費									86,035	86,035
旅費交通費									117,920	117,920
通信運搬費									31,137	31,137
減価償却費									2,855	2,855
消耗什器備品費									0	0
消耗品費									3,828	3,828
修繕費									0	0
印刷製本費									58,269	58,269
燃料費									5,482	5,482
水道光熱費									8,060	8,060
車両関係費									2,814	2,814
賃借料									18,058	18,058
保険料									0	0
贈謝金									0	0
租税公課									70,370	70,370
支払負担金									27,200	27,200
支払委託費									152,800	152,800
雑費									27,150	27,150
管理費 合計	0	0	0	0	0	0	0	0	2,234,463	2,234,463
経常費用計	30,833,810	10,529,463	186,081	41,529,154	232,661	883,184	0	915,855	2,234,463	44,879,472
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,409,007	△ 925,789	798,919	△ 4,535,877	247,573	16,806	0	264,379	294,569	△ 3,976,929
基本財産評価損益等										
特定資産評価損益等										
投資有価証券評価損益等										
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 4,409,007	△ 925,789	798,919	△ 4,535,877	247,573	16,806	0	264,379	294,569	△ 3,976,929
2 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
指定正味財産からの振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃止事業からの振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
固定資産除却額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計差額	0	0	108,083	108,083	0	0	△ 108,083	△ 108,083	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4,409,007	△ 925,789	907,002	△ 4,427,794	247,573	16,806	△ 108,083	156,296	294,569	△ 3,976,929
一般正味財産期首残高	△ 5,482,500	△ 182,548	33,823,467	28,178,419	1,788,099	667,798	△ 823,447	1,532,450	787,810	30,478,679
一般正味財産期末残高	△ 9,871,507	△ 1,108,337	34,730,469	23,750,625	2,035,672	684,604	△ 1,031,530	1,888,746	1,062,379	26,501,750
II 指定正味財産増減の部										
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	151,000,000	151,000,000	0	0	0	0	0	151,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	151,000,000	151,000,000	0	0	0	0	0	151,000,000
III 正味財産期末残高	△ 9,871,507	△ 1,108,337	185,730,469	174,750,625	2,035,672	684,604	△ 1,031,530	1,888,746	1,062,379	177,501,750

平成30年度 公益財団法人 雪だるま財団 事業計画

自然エネルギー推進、ふるさと交流事業を中心として、地域資源の価値を高め、地域を盛り立てることに重点を置き事業を展開する。地域・人・物の連携を図り、具体的な実践活動を行う。

■ 公益目的事業

自然エネルギー推進事業

(公1) 雪国に賦存する地域資源を有効活用し、環境保全と地域社会の発展に寄与する事業

(事業の内容)

地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出抑制効果がある自然エネルギーの有効活用について調査研究や普及活動を継続して行い、環境保全と地域社会の発展に寄与する。

1 自然エネルギーに関する調査・研究

雪冷熱・太陽光・バイオマス等の自然エネルギーを活かした技術開発を行い、地域資源を有効に活用する調査、及びシステムの研究開発を行う

○雪冷熱・太陽光・バイオマス等の自然エネルギーの導入に関する調査

○雪冷熱エネルギー活用の新たな施策検討のための調査研究

- ・市内等への雪中貯蔵施設整備に向けた調査
- ・民間事業者による雪冷熱導入施設の誘致・整備に向けた建設費の低コスト化の検討
- ・雪を利用した酒等の低温熟成、農畜産物等の雪中貯蔵、低温発酵・熟成に伴う食味変化などの調査・分析（有効な貯蔵方法や期間の検証、雪中貯蔵効果事例の検証）
- ・雪冷熱エネルギーを冷熱産業（冷蔵・冷房）に応用し、二酸化炭素の排出を抑える研究を行う

2 自然エネルギーの普及・推進活動

○自然エネルギーを活用した雪室の利活用の推進と運営支援

- ・雪室推進プロジェクト運営支援（年間）
- ・雪室利活用運営支援（年間）

○自然エネルギーに関する理解や認知度の向上と利用拡大を目指すためのセミナーの開催

- ・雪の市民会議開催、運営支援

○地球温暖化防止への意識を高めるため、小・中学生を対象とした自然エネルギーの知識を学ぶ教育プログラムの実施

- ・環境講座の開催

○相談・助言

- ・自然エネルギーの導入促進及び普及を図るため、専門家の派遣
行政等で組織する各種委員会への職員派遣、講演会への講師派遣等
- ・雪を利用した（農産物等の）貯蔵方法や、冷房システムに関する助言及び技術指導
- ・その他、再生可能なエネルギーの高効率化や省エネルギーに関する助言及び技術指導

- ホームページや雪だるま通信などによる情報発信、視察対応
 - ・雪だるま通信の発行（年4回）
 - ・ホームページによる情報発信
 - ・視察の受入、メディア取材対応等

ふるさと交流事業

（公 2）地域資源を活かした体験交流を促進し、青少年の健全な育成及び地域の活性化に寄与する事業

（事業の内容）

日本の原風景とそこに生きる人々の暮らしを活かした体験交流活動や地域づくりの提案等を行い、青少年の健全な育成、地域の活性化に寄与する。

1 小中高校生等を教育体験旅行で地域に受け入れる「越後田舎体験」事業を行う。

越後田舎体験推進協議会の事務局を受託し、コーディネータ役として、協議会の運営、学校団体の受入れ、受入のレベルアップ、地域連携の強化、営業活動等を行い、組織の強化と集客増を目指す。

- 地域資源を活かした教育旅行の受入れ
- 体験活動に関する指導者等の人材育成のための研修・セミナーの実施
- 体験活動に関する情報提供（雪だるま通信）、ホームページ等

2 魅力ある地域資源を活かした交流事業を行う。

行政・地域・各種団体との連携や他地域との連携を図りながら、協観光交流人口の拡大を目指す。

- 上越及びその周辺地域における地域資源（自然、農林漁業、暮らし・文化・歴史、人材等）を

活用した観光交流事業

- 人材発掘・育成のための研修
- 観光事業における各種団体等との連携
- 各種情報提供、視察等の開催

■ 収益事業

(収1) 情報通信事業

- (1) 各種団体等の情報の受発信のための支援
- (2) 各種団体等のホームページ作成及び運営支援

(収2) 事務委託事業

越後田舎体験推進協議会より委託を受け、下記の事務を行う。

- (1) 越後田舎体験推進協議会の総会等の会議、研修・視察等開催・運営
- (2) 越後田舎体験推進協議会の会計事務
- (3) その他総務事務

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	収2	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	1,900,000	1,900,000
寄付金収入	0	0	300,000	300,000	0	0	0	0	0	300,000
受取会費	0	0	1,050,000	1,050,000	0	0	0	0	0	1,050,000
事業収益	15,750,000	9,500,000	0	25,250,000	500,000	700,000	0	1,200,000	0	26,450,000
自然エネルギー推進事業収入	15,750,000	0	0	15,750,000	0	0	0	0	0	15,750,000
ふるさと交流事業収入	0	9,500,000	0	9,500,000	0	0	0	0	0	9,500,000
清掃業務受託収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信事業収入	0	0	0	0	500,000	0	0	500,000	0	500,000
田舎体験事務局収入	0	0	0	0	0	700,000	0	700,000	0	700,000
受取補助金等	1,200,000	0	0	1,200,000	0	0	0	0	0	1,200,000
地方公共団体補助金収入	1,200,000	0	0	1,200,000	0	0	0	0	0	1,200,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000
経常収益計	16,950,000	9,500,000	1,350,000	27,800,000	500,000	700,000	0	1,200,000	1,910,000	30,910,000
(2) 経常費用										
事業費										
役員報酬	651,000	3,394,500	0	4,045,500	0	232,500	0	232,500	0	4,278,000
給与手当	9,660,000	2,940,000	0	12,600,000	140,000	280,000	0	420,000	0	1,120,000
退職給付費用	25,200	131,400	0	156,600	0	9,000	0	9,000	0	165,600
福利厚生費	1,972,000	1,088,000	0	3,060,000	34,000	68,000	0	102,000	0	3,162,000
旅費交通費	200,000	300,000	0	500,000	0	0	0	0	0	500,000
通信運搬費	243,600	134,400	0	378,000	4,200	8,400	0	12,600	0	390,600
減価償却費	1,890	540,230	0	542,120	0	0	0	0	0	542,120
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	187,000	128,000	0	315,000	4,500	6,000	0	10,500	0	325,500
修繕費	20,000	0	0	20,000	0	0	0	0	0	20,000
印刷製本費	324,000	146,000	0	470,000	3,000	15,000	0	18,000	0	488,000
燃料費	145,000	95,000	0	240,000	0	5,000	0	5,000	0	245,000
水道光熱費	94,320	38,600	0	131,120	1,150	2,300	0	3,450	0	134,570
広告宣伝費	0	0	100,000	100,000	0	0	0	0	0	100,000
車両関係費	87,000	57,000	0	144,000	0	3,000	0	3,000	0	147,000
賃借料	189,000	146,000	0	335,000	3,000	6,000	0	9,000	0	344,000
保険料	0	10,000	0	10,000	0	0	0	0	0	10,000
会議費	10,000	0	0	10,000	0	0	0	0	0	10,000
渉外交渉費	0	0	10,000	10,000	0	0	0	0	0	10,000
贈謝金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	464,000	312,000	0	776,000	8,000	16,000	0	24,000	0	800,000
支払負担金	35,000	90,000	0	125,000	0	0	0	0	0	125,000
委託費	3,800,000	200,000	0	4,000,000	0	0	0	0	0	4,000,000
有価証券運用損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	26,100	14,400	0	40,500	450	900	0	1,350	0	41,850
事業費 合計	18,135,110	9,763,730	110,000	28,008,840	198,300	652,100	0	850,400	0	28,859,240
管理費										
役員報酬									372,000	372,000
給与手当									980,000	980,000
退職給付費用									14,400	14,400
福利厚生費									238,000	238,000
会議費									10,000	10,000
旅費交通費									100,000	100,000
通信運搬費									29,400	29,400
減価償却費									260	260
消耗什器備品費									0	0
消耗品費									4,500	4,500
修繕費									0	0
印刷製本費									12,000	12,000
燃料費									5,000	5,000
水道光熱費									8,050	8,050
車両関係費									3,000	3,000
賃借料									21,000	21,000
保険料									0	0
贈謝金									0	0
租税公課									70,000	70,000
支払負担金									30,000	30,000
支払委託費									150,000	145,000
雑費									3,150	3,150
管理費 合計	0	0	0	0	0	0	0	0	2,050,760	2,050,760
経常費用計	18,135,110	9,763,730	110,000	28,008,840	198,300	652,100	0	850,400	2,050,760	30,910,000
評価損益等調整前当期経常増減額										
基本財産評価損益等										
特定資産評価損益等										
投資有価証券評価損益等										
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,185,110	△ 263,730	1,240,000	△ 208,840	301,700	47,900	0	349,600	△ 140,760	0
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
指定正味財産からの振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
中科目別記載										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	△ 1,185,110	△ 263,730	1,240,000	△ 208,840	301,700	47,900	0	349,600	△ 140,760	0
他会計振替額	0	0	118,192	118,192	0	0	△ 118,192	△ 118,192	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,185,110	△ 263,730	1,358,192	△ 90,648	301,700	47,900	△ 118,192	231,408	△ 140,760	0
一般正味財産期首残高										
一般正味財産期末残高										
II 指定正味財産増減の部										
受取補助金等										

一般正味財産への振替額										
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	151,000,000	151,000,000	0	0	0	0	0	151,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	151,000,000	151,000,000	0	0	0	0	0	151,000,000
III 正味財産期末残高	0	0	151,000,000	151,000,000	0	0	0	0	0	151,000,000